



よしだつうしん

吉田通心

第125号
【2025年2月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通心は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆香炉の灰の中に◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通心第125号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、先日、とあるお客様宅のお仏壇処分のご依頼があり、弊社で対応をさせていただいたのですが、実はそのときに弊社のミスでカーペットと畳を焦がしてしまい、当然ですが、弁償をさせていただくことになりました。

もともとそのお宅に住まわれていた方は遠方にお引越しをされ、ご親戚の方がお宅を引き継がれ、そのご親戚の息子さんが住むことになりました。遠い親戚ということもあり、そのお宅にあったお仏壇は残念ながら処分することになり弊社にご依頼がありました。

そのお仏壇を処分するにあたり、お寺様にお経をあげていただいていた。その後、実際に撤去の段階になったときには当然、ろうそくは消えており、お線香も見限り完全に消えていました。

そこで弊社担当者が灰でいっぱいになっている香炉を見て、そのまま移動すると灰が飛び散ってしまうおそれがあったので、上の方の一部の灰をビニール袋に取り分けたそうです。

そこから撤去作業が進んでいったわけですが、実はその香炉にあった灰のビニール袋に分けた一部にまだ種火が残っていたのです。見る限りお線香は完全に消えていたけれど、灰に埋まっていたところがまだ完全には消えておらず、それに気がつかずにビニール袋に移したことで、ビニール袋を突き破り、そして、カーペットと畳の一部を焦がしてしまったのです。

今後、弊社の誰が対応をしても同じ事が起きないように、いっぱいになっている香炉の灰は大きめの缶に移すだとか、香炉をそのまま入れられる耐火性の容器に移し替えるだとか対策を講じます。これからの時代、墓じまいと同様にお仏壇じまいも増えていくことが考えられます。同じ失敗を繰り返さず、今まで以上にしっかりと対応できるようにしたいと思います。



◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、秋口に今シーズンの冬は大雪になると聞いていたのですが、2月4日時点ではそこまで降っておらず、穏やかな冬になるなあ、と思った途端の7日に新潟市内にもボサボサと…。土曜日の朝の除雪は久しぶりに堪えました。今までの雪で山の降雪も多く、おいしいお米が期待できます。すでに2月末にタイヤ交換を予約しているので、これ以上平場は降らずにいてくれたらなと思っています。吉田竹史

■吉田通心を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史